

くらしの豆知識

1 子どもたちのケータイトラブル

●学校裏サイト遊び

「学校裏サイト」と呼ばれるネット遊びの内容はあまり大人たちに知られず、思春期の子どもたちによるわいせつ情報や誹謗中傷など、有害情報の発信基地になっていました。

この「学校裏サイト」も大きく二つに分類できます。
 ・全国版：全国の中高生の利用を目的としたサイト（全国から誰でも掲示板を閲覧することができ、書き込みもすることができ、学校裏サイト）で「一般学校裏サイト」と呼ぶ。
 ・地方版：特定地域、特定の学校の生徒たちの利用を目的とし、実際の学校名を掲げた掲示板で「特定学校裏サイト」と呼び、閲覧や書き込みをするのは、その学校の生徒の場合が多い。

●学校裏サイト

：4つの問題点

一般学校裏サイトと特定学校裏サイトでは、利用目的が基本的に異なっているようです。

一般学校裏サイトでも人気のあるサイトでは、異性とのネット交流や性的、卑猥な内容を含む発信が多い傾向が見られます。

特定学校裏サイトは、その学校に關係する生徒らの情報交流の場として一見無難で楽しそうにみえます。しかし、実名や実名が推定できる書き込み（例えば虫食いと言われるもので、○中○雄など）での誹謗中傷が多く、特定の学校に限られた掲示板ならば誹謗中傷される人も、誹謗中傷する人もその学校の生徒の可能性が高いと推測されます。ネットの匿名性を利用し、自分の正体を明かさず、陰

くらしの中のIT

湿な手口で自分の気に入らない相手を傷つけることができてしまう媒体にもなります。学校裏サイトは「秘密基地遊び」ともいわれ、次のような問題があります。

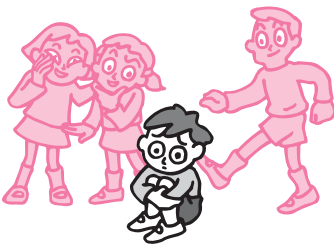
①誹謗中傷の発信が起きやすい。

②俗に「喧嘩サイト」と呼ばれるように暴力誘発情報の発信になりやすい。

③思春期の猥談からワイセツ情報発信になりやすい。

④サイトの広告がアダルトグッズや出会い系など青少年に有害なものが多過ぎる。

当初パソコンからの利用も多かったのですが、次第に携帯電話からの利用が増えて主流となり、保護者や



教師の見守りが難しくなりました。

●裏サイトの次がプロフィール

プロフィールとはプロフィールの略で、以前から思春期前後の子どもたち、特に小学校高学年から中学校の少女

たちが使ってきた紙のプロフィール帳のネット版と考えればいいでしょう。名前や趣味など、自分の個人情報やネットに登録、中高生の間で人気があります。これを使えば写真を付けて自分を多くの人にアピールでき、全国どこからでも友達を探せるのです。

しかし、悪い大人とつながって、トラブル、事件になったり、誹謗中傷発信も増えたりするかもしれないという新しいいじめも発生しています。

携帯電話の危険性を減らすために大人も注意を払い、対策を考えてみましょう。厳格なフィルタリング・ソフトを使用することで、学校裏サイトなどを使えなくすることが出来ます。

出典（2009年版）くらしの豆知識 国民生活センター発行

歯の健康講座

『虫歯と年齢』

乳児期：およそ3歳で20本の乳歯が生えそろいます。上の前歯は虫歯がしやすい場所です。スポーツ飲料やジュースを哺乳瓶で飲んでいると、虫歯になりやすくなります。

幼児期：虫歯は、水がしみ、歯が痛むなどという症状が出ますが、乳歯の場合は自覚症状が永久歯ほど明確ではありません。進行はとも早いので注意が必要です。できやすい場所は、上の前歯、奥歯の溝、歯と歯の間です。

学童期：生えたらばかりの永久歯は、タケノコのように柔らかく、乳歯と同様に虫歯は早く進行します。特に6歳臼歯は、深い溝を有し、完全に生えるまでに1年ほどかかるため、虫歯になりやすい歯です。永久歯は生えてから3年ほど経つと竹のように硬くなり虫歯にもなりにくくなります。

成人期：歯と歯の間など見つけにくい場所に多く見られます。また、治療した歯は、二度と虫歯にならないという誤った安心感などから、手入れを怠り、再び虫歯になってしまうこともあります。

高齢期：加齢や歯周病などによって歯肉が下がり、歯の根の部分に多くできます。

虫歯は年齢だけでなく、歯並び、唾液の性状、歯磨きの仕方、全身疾患や生活習慣などによっても変わってきます。